

横浜キネマ倶楽部
2014年10月13日発行

特別上映会 日本語字幕付き



©1991 松竹株式会社

山田洋次監督作品

(1991年／日本／121分)



©1991 松竹株式会社

2014年10月13日(月・祝)

[上映時間] ①11:00～ ②14:00～

[講演] 13:05～13:50 (手話通訳付)

妹尾映美子さん 本作手話コーディネーター

[共催] 一般社団法人 横浜市聴覚障害者協会

[会場] 横浜市西公会堂

第 65 回キネマ旬報 日本映画ベストワン、第 15 回日本アカデミー賞 最優秀作品賞、
第 46 回毎日映画コンクール 日本映画大賞、第 16 回報知映画賞 作品賞、
第 15 回山路ふみ子映画賞 福祉賞、第 4 回日刊スポーツ映画大賞 作品賞、
第 1 回日本映画批評家大賞 作品賞

『息子』

【物語】

東京の居酒屋でアルバイトをしている哲夫は、1990年(平成2年)7月(バブル景気時)、母の一周忌で帰った故郷の岩手でその不安定な生活を父の昭男に戒められる。その後、居酒屋のアルバイトを辞めた哲夫は下町の鉄工所にアルバイト(後に契約社員へ登用)で働くようになるが、製品を配達しに行く取引先で征子という美しい女性に好意を持つ。哲夫の想いは募るが、あるとき彼女は聴覚に障害があることを知らされる。当初は動揺する哲夫だったが、それでも征子への愛は変わらなかった。翌年の1月に上京してきた父に、哲夫は征子を紹介する。彼は父に、征子と結婚したいと告げるのだった。

【スタッフ】

監督・脚本:山田洋次
原作:椎名誠『倉庫作業員』
脚本:朝間義隆
製作総指揮:大谷信義
プロデューサー:中川滋弘、深澤宏
音楽:松村禎三
イメージソング:中島みゆき『with』
撮影:高羽哲夫
美術:出川三男
照明:青木好文
編集:石井巖

【キャスト】

浅野昭男・・・三國連太郎
浅野哲夫・・・永瀬正敏
川島征子・・・和久井映見
浅野忠司・・・田中隆三
浅野玲子・・・原田美枝子
浅野とし子・・・浅田美代子
浅野徹・・・山口良一
浅野綾子・・・浅利香津代
浅野守・・・ケーシー高峰
近所の老人・・・浜村純
バイト先の主任・・・佐藤B作
バイト先のおっさん・・・いかりや長介
三沢さん・・・梅津栄
アキ・・・渡部夏樹
運送会社の社長・・・レオナルド熊
居酒屋の板長・・・中本賢
哲夫の隣人・・・小倉一郎
藤田・・・村田正雄
寺尾・・・松村達雄
サクラ製作所の事務員・・・中村メイ子
浅野きぬ江・・・音無美紀子
昭夫の隣人・・・奈良岡朋子
タキさん・・・田中邦衛



©1991 松竹株式会社

☆☆ 山田洋次 監督 プロフィール ☆☆

1931年生まれ。1954年、助監督として松竹入社。1961年、『二階の他人』で監督デビュー。
1969年からの『男はつらいよ』シリーズをはじめ、『家族』(70)、『故郷』(72)、
『幸福の黄色いハンカチ』(77)、『息子』(91)、『学校』(93)等代表作多数。
2002年、藤沢周平原作の本格時代劇『たそがれ清兵衛』は、第26回日本アカデミー賞他、日本の映画賞を
総なめにし、第76回米国アカデミー賞外国語映画部門ノミネートを果たした。
近年の公開作に『母べえ』(08)、『おとうと』(10)、『東京家族』(13)等。
2008年より日本藝術院会員、12年、文化勲章受章。

(『小さいうち』ホームページより引用)

◇◇ 妹尾 映美子 (せお えみこ) プロフィール ◇◇ 〈 手話コーディネーター 〉

手話芸能事務所代表 松竹ブロードキャスティング(株)専属

ラジオ DJ を経て、ろう者中心の『日本ろう者劇団』
(理事長黒柳徹子)に入団、
“ろう演劇”を学ぶ。コミュニケーション手段として「手話」
を習得、団員として演劇活動を行う。入団半年で
初舞台、一年後にヨーロッパへ渡る。経験の場数と
共に、各方面から依頼増加、枠を広げる。
英国ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー来日公演
『夏の夜の夢』で、日本初となる全編単独舞台通訳、
演劇としての表現(手話)に着目される。その後、田
中美里主演『わが町』、四国全域巡業の俳優座劇場
『小さき神の作りしら』で全編舞台通訳。
アフガニスタンでは銃で警護されながら、前例無い
長期滞在映画ロケ敢行。イラン、パキスタン訪問。翌
年映画祭に参加。
NHK 番組『みんなの手話』『ろうを生きる難聴を生き
る』は15年間担当。
舞台、映画、テレビで、アクション・ドキュメンタリー・
教育・子供向けビデオなど、
出演やコーディネート(表現指導・振り付け)を行な
っている。
ほか俳優教室の講師や、音訳士、ガイドヘルパーな
ど、活動は広範囲に及ぶ。
現在、松竹の長寿番組でMC出演中。

～出演とコーディネート主な作品～

【舞台】

夏木マリ『印象派』/演劇集団キャラメルボックス『嵐に
なるまで待って』他/三宅裕司主催劇団 S・E・T『昨

日たちの旋律』/俳優座劇場『小さき神の作りしら』
/矢部美穂主演『オズの魔法使い』/渡辺正行演
出『野に咲く花なら』/赤塚真人劇団『スマイル』他。

【映画】

大澤豊監督『遙かなる甲子園』『アイ・ラブ・フレンズ』
『アイ・ラブ・ピース』(全出演兼)/山田洋次監督『息
子』/北野武監督『あの夏いちばん静かな海』/原
田真人監督『GUNHED』/武田鉄矢監督『織部金
次郎』/塩田明彦監督『黄泉がえり』/中山節夫監
督『旅の途中で』/五十嵐匠監督『長州ファイブ』/
石原興監督『獄に咲く花』他。
大澤豊・米内山明宏共同監督『アイ・ラブ・ユー』(出
演兼)で日本アカデミー賞受賞。

【テレビ】

『青春メッセージ』(主演)/『徹子の部屋』(出演)/
『情熱大陸』(出演)
『しあわせのシッポ』(全12話)/『おふくろシリーズ』
/『星に願いを』/『テリー伊藤のロングインタビュー』
(出演)/TVCM「携帯電話 au」/『土曜ワイド劇場
法医学教室の事件簿』(出演)/『こちら本池上署』
(出演)/『逮捕しちゃうぞ』/サスペンスドラマ Part1
『殺意』, Part2『顔のない女』他。
手話翻訳本は、「手話は語る」(評伝社)「こころの
こえ、かぜのうた」(バウハウス)
「私が私らしくあるために」～執筆・題考案(大和出
版)

共催：一般社団法人 横浜市聴覚障害者協会
<http://yokochokyo.sakura.ne.jp/>

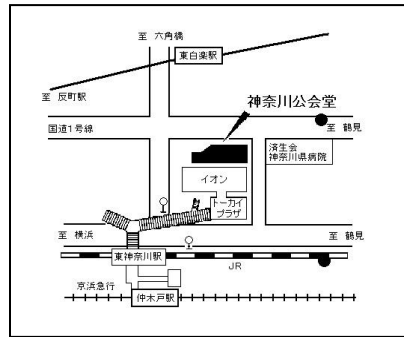
第37回上映会のお知らせ

会場がいつもと異なりますのでご注意ください

日時:2014年11月24日(月・祝)

1回目 11:00 2回目 14:00

(講演:フェリス女学院大学教授 矢野久美子さん)



会場:神奈川公会堂 045-432-3399

(JR東神奈川駅下車徒歩3分、京急線仲木戸駅下車徒歩5分、東横線東白楽駅徒歩8分)

入場料: 会員無料/賛助会員 800円

前売り一律 1,000円/当日一律 1,300円

障害者1,000円 介護者1名無料

2012年/114分/ドイツ・ルクセンブルク・フランス

監督・脚本: マルガレーテ・フォン・トロッタ

出演: バルバラ・スコヴァ/アクセル・ミルベルク/ジャンネット・マクティア

『ハンナ・アーレント』

誰からも敬愛される高名な哲学者から一転、世界中から激しいバッシングを浴びた女性がいる。彼女の名はハンナ・アーレント、第2次世界大戦中にナチスの強制収容所から脱出し、アメリカへ亡命したドイツ系ユダヤ人。1960年代初頭、何百万ものユダヤ人を収容所へ移送したナチス戦犯アドルフ・アイヒマンが、逃亡先で逮捕された。アーレントは、イスラエルで行われた歴史的裁判に立ち会い、ザ・ニュー Yorker 誌にレポートを発表、その衝撃的な内容に世論は揺れる…。

「考えることで、人間は強くなる」という信念のもと、世間から激しい非難を浴びて思い悩みながらも、アイヒマンの「悪の凡庸さ」を主張し続けたアーレント。歴史にその名を刻み、波乱に満ちた人生を実話に基づいて映画化、半世紀を超えてアーレントが本当に伝えたかった「真実」が、今明かされる。

監督はニュー・ジャーマン・シネマの旗手として現れ、世界で尊敬される女性監督の一人となった、マルガレーテ・フォン・トロッタ。10年の構想を経て完成させた本作では、今なお論争を呼ぶアーレントの思想の本質に迫ると共に、夫や友人への愛溢れる女性としてのア



©2012 Heimatfilm GmbH+Co KG, Amour Fou Luxembourg sarl, MACT Productions SA, Metro Communications Ltd.

ーレントを描き、2013年度ドイツ映画賞6部門ノミネート、2部門を受賞。温かな魅力と、深く真実を探る鋭さを併せ持つアーレントをバルバラ・スコヴァが熱演。本国ドイツ、フランス、アメリカで大ヒットを記録し、2012年度東京国際映画祭でも絶賛されたのは、決して偶然ではない。

— 第38回の上映会のお知らせ —
2015年2月28日(土) 横浜市西公会堂 作品未定

[事務局より]

<下半期会員募集中!>

- ◆入会金500円、下半期10月以降入会の方、年会費1,500円(一括払い、会期は2014年3月まで)
- ◆下半期の上映会(2回)を無料で観ることができます。
- ◆特別上映会を500円で観ることができます。
- ◆総会(年度初め)における議決権があります。

<賛助会員も募集しています!>

- ◆入会金不要、年会費1,000円(一括払い)
- ◆年度内の上映会を各800円で観ることができます。
- ◆総会の議決権はありませんが、ご出席いただけます。

横浜キネマ倶楽部会報

発行:横浜キネマ倶楽部



〒231-0012 横浜市中区相生町1の15
第2東商ビル4階-C 労働市民法律事務所 気付
TEL:080-8118-8502
Eメール:yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp
HP :<http://ykc.jimdo.com>